

鳥取の民話

収録・解説 酒井董美

3

「また売れなかった」と帰 麩は麩で別々に言わない ないはずだ。そんなバカ げな売り方はない」とい して来たので、「どう言っ と分らない」と教えて う、とんとん昔の物語。

と「茶と柿と栗と麩だか れなかった」と帰って来 『茶栗柿麩。茶栗柿麩』 た。「どう言って売って と言って歩いた」と言っ と言って歩いた」と言っ た。「それでは何言ってい は「茶は茶で別々。栗は 栗で別々。柿は柿で別々 の多いところで売ってきな は茶で別々に、栗は栗で …と言って売って歩い 別々に、柿は柿で別々に、 た」と言っ。「そら売れ さい」と教えて出したが

解説

1、ばか息子(聾)が 茶・栗・柿・(麩)を売 りに行く。つづけさまに 名をふれるので、聞いた 人にわからず、売れない。

2、別々にふれるもの だと教える。茶は茶で別 々々とふれるが、それでも わからず、少しも売れな い。

鳥取県内類話に「佐治谷話」

語り手の田子さんは、 昔を思い出しながら、手 まり歌などのわらべ歌や 祝言歌などをうたってく ださったが、この「だあ ず子の物売り」について は、母カツさんから聞 かせてもらったもので 語られていたので、読者 す、と懐かしそうに語っ の方々もどこかでお聞き てくださったことを 思い出す。

類話は広く各地に伝え ださったが、この「だあ られている。もちろん鳥 ず子の物売り」について 取県内でもよく語られて しており、佐治谷話として も かせせてもらったもので 語られていたので、読者 になったり本でお読みに になった経験がきつとある だろ。

この話は、関敬吾著『日 本昔話大成』で見ると、 本昔話大成』で見ると、 笑話「愚人譚」の「B かがった話の一つがこれ 愚か聾(息子)」の中にな のである。

「茶栗柿」として次のよ (元鳥取短期大学教授) くに登録されている。(水曜日掲載)



イラスト・福本隆男

だあず子の物売り

(米子市岩倉町)

あるところに、大変な バカな男の子がいた。 その子に親が「おまえ、 この茶と柿と栗と麩を売 りに行つてこい」と売 りに行かせたところ「一つ も売れなかった」ともど かって来た。「どこに行っ て売つて来た」と聞いたら「人の一人も通つてい ないとこを歩いた」と言 つので、「もっと人のい っぱいいるとこで売って 来い」と教えた。

それで今度は人のいっ ぱいいるところへ行つた けれど、「今日もまた売れ なかった」と帰つて来た ので、よく聞くと「人が亡